

学位被授与者氏名	有松 由衣 (ありまつ ゆい)
論文題目	ソロモン社会における華人の現在 パートタイム移民の見えない軌跡
論文審査結果の要旨	<p>著者の中国語の語学力を生かした、ソロモン諸島在住の華人に対する網羅的な聞き取りの記録は、一次資料として非常に価値が高いものである。</p> <p>さらに著者はそのデータをもとに移民の形態を分析し「パートタイム労働者」の存在を明らかにしている。参与観察によるパートタイム労働者の日常行動や価値観から、現地ソロモン人との人間関係を記述し、騒乱の原因を説明する著者の論拠は、これまでの政治的・経済的な解釈に比べて非常に説得力がある。おしむらくは反対側の当事者であるソロモン人の華人に対する意識についてのデータが現時点では不十分な点である。</p> <p>また、この研究はグローバル時代に出現したこれまでとは全く異なる移民（労働形態）の存在を指摘した点で学術的に注目される。経済力のある大きな組織ではなく、地縁や血縁を頼りにした家族規模の労働者の派遣が、インターネットや航空網の発達によって世界中に展開しているという本論で示された事実は、きわめて興味深い現象である。これまでの中華系移民との比較や「不在経営者」など送り出す側の研究が待たれるところである。</p> <p>なお、この研究成果は2012年3月末に岡山で開催される第29回日本オセアニア学会研究大会での発表を予定している。</p> <p>平成24年2月20日に、北九州市立大学北方キャンパス4号館4-101教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(人間関係学)として十分な内容であると判定した。</p>